ボック首相発麻生総理宛メッセージ

日本国内閣総理大臣　麻生太郎　閣下

本年、ルーマニアと日本は二国間の外交関係再開５０周年を祝います。

この記念すべき出来事から今日に至るまで、ルーマニアと日本の友好関係及び協力は、とりわけルーマニアが民主主義諸国のコミュニティに再度仲間入りしてから、着実に強化されています。さらに、２００２年に、日本国とルーマニアの友好、協力、パートナーシップに関する共同声明に署名した後、ルーマニアと日本の関係は成熟したパートナーシップの段階に到達しました。

ルーマニアは、過去５０年間のルーマニアの経済発展に対する日本の重要な貢献を高く評価し、今日世界経済が相互依存を増している状況において、日本との経済的つながりを更に強化していく可能性及び意思があります。

文化交流もまた、両国関係の重要な要素であり、地理的距離にもかかわらず、相互理解を深め、両国民を接近させることに大いに貢献しています。

ＥＵの積極的な加盟国であるルーマニア及び絶えず拡大しているＥＵと日本との戦略的パートナーシップをもってして、両国関係を記念すべき本周年は、両国の多様な協力の発展に新たなはずみをつけるとの私の強い確信を共有したいと思います。

この記念すべき年に、ルーマニアは秋篠宮同妃両殿下の御訪問を歓迎する光栄を有しております。この御訪問は、両国友好関係史上新たな且つ重要な出来事となるでしょう。

このメッセージを、両国の外交関係設立に決定的に貢献した傑出した日本の外交官且つ政治家でもある牧野伸顕伯爵の曾孫である貴総理に宛てるといった嬉しい偶然の一致に対する私の喜びを表明致します。また、この機会に、貴閣下及び友好的な日本国民に対して親密な祝意をお伝えするとともに、平和と繁栄をお祈り申し上げげます。

貴閣下に対し、衷心より敬意を表します。

２００９年１月

ルーマニア首相
エミル・ボック

※このメッセージは、ルーマニア語オリジナルメッセージの仮訳です。